

[参考事項]

新技術名：ブドウ「ノースレッド」の花振るいに対するフラスター液剤の防止効果
(平成7～9年)

研究機関名 果樹試験場天王分場
担 当 者 田口辰雄・小野早人
他 1 名

[要 約]

ブドウ「ノースレッド」に対して、開花前のフラスター液剤の花房及び新梢への散布は、着粒密度が高まり、花振るい防止効果が認められた。

[ねらい]

本県で導入が進んでいるブドウ「ノースレッド」は、開花期の天候や樹勢等とも関係するが、年によって花振るいが生じ結実不安定となることが問題である。そこで、植物生長調節剤を利用した結実安定技術を確立する。

[技術の内容・特徴]

- 1 「ノースレッド」樹に対して、開花5～9日前に、フラスター液剤500倍液を（市販展着剤10,000倍加用）、花房と新梢全体に十分量散布することにより、着粒密度が高まり、収穫時の果房重も増加し、結実改善効果と生産安定効果が認められた。2回散布は顕著な効果が認められず、1回散布で実用的であった（表1、表2）。
- 2 収穫果の果実品質や食味、新梢生育への影響は認められず、実用上の問題はないとみられた。

[参考対象範囲]

県内ブドウ生産地帯

[参考上の留意事項]

- 1 本剤は、未登録のため、現在、実用化はできない。
- 2 処理時期や樹勢の強弱との関係については、さらに検討が必要である。

「具体的データ」

表1 摘粒前の着粒密度（「ノースレッド」）

年次	試験区 処理時期		摘粒前の着粒密度(繖)と程度別分布(%)							
			調査 果房数	着粒 密度	5 (密)	4 (中密)	3 (中)	2 (中疎)	1 (疎)	3以上 割合
1995	1区	開花前 7日	195	3.0	7	20	41	30	2	68%
	2区	" 5日	192	3.1	8	24	37	29	2	69
	3区	" 7+5日	150	3.7	26	32	29	11	2	87
	4区	無処理	196	2.4	4	7	27	56	6	38
1996	1区	開花前 9日	133	2.4	0	15	34	27	24	49
	2区	" 7日	135	2.3	0	6	30	51	13	36
	3区	" 9+7日	118	2.4	1	13	32	31	23	47
	4区	無処理	102	1.9	0	0	18	48	34	18

表2 収穫果の果房重（「ノースレッド」）

年次	処理区	調査 果房数	果房重 (無処理対比)	201g以上の 果房割合
1995	1区	124	176g(117)	23%
	2区	105	167(111)	18
	3区	89	166(110)	14
	4区	116	151(100)	11
1996	1区	177	148(115)	14
	2区	181	134(104)	3
	3区	129	155(120)	16
	4区	108	129(100)	2

表3 収穫果の果実品質と新梢生育（「ノースレッド」）

年次	処理区	1粒重 (g)	糖度 (Brix)	酒石酸 (%)	食味 評価	新梢長 (cm)	新梢の太さ (cm)
1995	1区	4.2	17.0	0.40	良好	87	9.3
	2区	4.0	16.8	0.44	良好	95	9.6
	3区	4.0	16.6	0.33	良好	87	9.0
	4区	4.2	16.8	0.36	良好	87	9.1
1996	1区	4.6	18.9	0.48	良好	79	8.7
	2区	4.4	19.3	0.46	良好	69	7.8
	3区	4.7	18.6	0.48	良好	79	8.9
	4区	4.5	19.4	0.41	良好	95	9.1

[発表文献等]

なし